

動労千葉
才4回定期
委員会(%)

国鉄35体制粉碎、3.28三里塚総決起を決定

委員会報告・その2

日刊
動労千葉

82.3.12

No. 990

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・公衆)〇三三二七二〇七

動労「本部」反動分子による「3月千葉破壊オダ」
(動労オ二五回定)を断固としてうちくたごう！
(中委で策動を公言)

3月10日、第4回定期委員会は、三五万人体制攻撃粉碎、三里塚二期着工阻止、大巾賃上げ獲得を中心とする当面の取り組みについて決定しました。とりわけ「3・6全国労働者集会」の大成をバネに、3・28三里塚現地集会への大結集をかちとること、動労「本部」革マル反動分子による、三月動労千葉破壊「オルグ」を完膚なきまでに粉碎することを確認しました。

前号にひきつづき、第4回定期委員会の報告を掲載します。

「82春闘を中心とする取り組みについて」と、「一九八二年度暫定予算案」が提案され、「方針」は次の通りです。

動労千葉の82春闘

1. 第6回定期大会の81春闘総括にふまえて、「反合・三里塚ジェット闘争を水路とした、80年代に通用する自前の労働運動」の構築を基本に、82春闘を「反合・三里塚春闘」と位置づけ、次の闘いの目標を設定します。
 - (1) 反行革―国鉄三五万人体制攻撃粉碎
 - (2) 三里塚二期着工阻止
 - (3) 大巾賃上げ獲得、既得権はく奪粉碎
 - (4) 右翼労働「統一」粉碎・動労大改革の推進
2. 具体的な闘いの進め方は、3月9日に提出した賃金要求にもとづく交渉を軸に、交渉の進展と全体情勢を見極め、実力闘争を行使する基本姿勢をもって闘い抜くこととします。
3. 当面する最大の取組みとして、二期工事阻止、反対同盟解体攻撃粉碎、3・28三里塚現地大集会へ動労千葉の総力をあげて結集することとします。

国鉄三五万人体制粉碎の取組み

具体的な取組みについて

- (1) 当面する小名木川構内入換民託に対しては、新小岩機関区の存続に係わる重大な問題と受けとめ、申7号を中心にして団体交渉を軸に積極的に取組むこととします。
- (2) 検修下回り民託反対の取組み、内達1号改悪、57・11ダイヤ改悪などの合理化事案に対し、絶対反対の立場を堅持し、全体情勢をみながら、ストライキ・減産闘争など、あらゆる戦術を駆使して闘うこととします。

組織体制の強化・拡大

動労「本部」第一一五回定中委で、土屋幹は、「動労千葉は三月一日処分発令で組織的・財政的

危機にたっている。全国からオルグを」と発言し、「本部」革マル反動分子は「定中委終了後、一気に行動を起こして3月31日迄に結着をつける」としています。このような組織破壊攻撃に対し、新たな「本部」派解体闘争のバネに転化するものとして全力をあげて闘うこととします。

新採獲得に総力をあげて取組むとともに、来年7月に予定される参院選(千葉地方区)は「糸久八重子」の当選にむけて総力で取組むこととします。

以上の提案に対し、6名の委員より「小名木川構内民託に対する闘い」「検修係の要員補充」「検査係の添乗旅費問題」「労働者の規律」「激動期の労働運動のあり方」について質問が出されました。

中野書記長は総括答弁として「今日、国鉄再建という名の国鉄労働運動解体攻撃がかけられている。三里塚と国鉄を叩きつぶさないと改憲できないからだ。動労千葉としてもむずかしい状況はあるが筋を通すことが、今一番重要である。」「動労「本部」による動労千葉破壊オルグは望むところだ。絶対に粉碎し、動労大改革の大前進を勝ちとろう」「木原線廃止問題は、第三セクター化の動きが出ているが、58年度中廃止をなんとか阻止したい」「反合問題は欠員問題をどうするか考え、一般採の獲得を取組む」「三里塚情勢については勝負は3・28集会であり、81・3の成果を上げて取組み、労働組合部隊3千をつくりたい」と述べ、圧倒的拍手で確認しました。

委員会は、共済会規則適用について、犠牲規則一部改正を承認し、最後に片岡教宣部長の委員会宣言、関川委員長の前頭で団結ガンバローを三唱して終了しました。

